



# R. I. 第2630地区 高山中央ロータリークラブ WEEKLY REPORT

2013～2014 年度 高山中央 RC 会長テーマ  
「楽しい時(例会)が素晴らしい人生(ロータリー)を創る」

◆会長 山本 辰男 ◆幹事 中田 専太郎 ◆会報委員長 前越 路子 ◆会報担当 平林 英一

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 1000回	51名	50名	43名	—	86.00%
前々回 998回	51名	50名	43名	0名	86.00%

## 1000 回記念例会

<日時> 平成 26 年 4 月 21 日 (月) 17:30～21:00  
<場所> ひだホテルプラザ

【第1部】	1000 回記念例会	司会進行 SAA	3階 石橋の間
点鐘	山本 辰男 会長		
ロータリーソング			
ゲスト・ビジター紹介	山本 辰男 会長		
会長の時間	山本 辰男 会長		
プログラム紹介及び講師紹介	大保木正博クラブ奉仕委員長		
記念講演(野麦峠を超えた娘たち)	岡田 すみ子 様		
御礼	大保木正博クラブ奉仕委員長		
【第2部】	祝 宴	司会: 佐田 鐘子 様	3階 神楽の間
開演の挨拶	山本 辰男 会長		
友好クラブ会長挨拶	細野光生 平塚湘南ロータリークラブ会長		
乾杯	劔田広喜 ガバナーノミニュー・デジグネット		
祝唄(めでた)	島 良明		
佐田鐘子さん歌唱			
中締	永家将嗣 会長エレクト		
手に手唱和			
閉会の言葉	新井信秀 クラブ奉仕副委員長		
点鐘	山本 辰男 会長		

<点 鐘>

<ロータリーソング>

<本日のビジター>

平塚湘南ロータリークラブ

細野 光生 様  
小泉光一郎 様  
真道 豊 様  
高橋 烈雄 様  
中村 武司 様  
牧石 健志 様  
黒柳 寿郎 様  
関口 直美 様  
芦川 浩 様  
大森 雄二 様  
清水 直幸 様  
三富 正規 様

会長 山本 辰男  
奉仕の理想

夫人 細野 陽子 様  
夫人 小泉 朋子 様  
夫人 真道 弘子 様  
夫人 高橋 ケイ子 様  
夫人 中村 邦子 様  
夫人 牧石 礼子 様  
吉野 龍彦 様  
杉崎 一雄 様  
麻生 政雄 様  
近藤 勝茂 様  
原 康二 様  
横山 邦夫 様

<会長の時間>

会長 山本 辰男

先ほど 1000 回目  
の記念の点鐘を  
叩かせて頂きま  
した。  
皆様と先輩方に  
感謝申し上げます。  
平成 3 年 6 月 10  
日に三輪初代会  
長が 1 回目の点  
鐘されてから 22 年と 10 ヶ月余りでの到達です。本日はその記念例会に友好クラブの平塚湘南 RC より細野会長をはじめメンバーの皆さんとパートナー含めてたくさんの



方にご出席を頂き花を添えて頂き大変にぎやかに記念例会を開催する事ができ感謝申し上げます。  
前にもお話をさせて頂きましたが、テレビのコマーシャルであなたの体はあなたの食べ物で出来ているというのがありますが、高山中央RCはもちろんメンバーそれぞれの個性もありますが、代々の例会の積み重ねで今日この形が出来ていると思います。今年のテーマに揚げました楽しい例会の積み重ねが素晴らしいクラブを作る、まさにこの事だと思えます。これからも素晴らしい例会を積み重ねていって更に素敵なクラブになれば嬉しいです。  
本日は1000回例会を感謝し、そして楽しみましょう。ありがとうございました。

### <講師紹介>クラブ奉仕委員長 大保木 正博

本日の1000回例会には、講師に岡田すみ子様をお迎えしております。  
岡田様は30年余りに渡り、濃飛バス(株)においてバスガイドをされてみえました。  
バスガイドをされていた当時、長野県松本市あるいは名古屋・岐阜市から高山へ添乗される際、道中でされる大変感動的なお話が話題になった方です。  
平塚湘南の皆様には、観光地飛騨のまた違った側面を感じて頂き、高山中央の皆さんにはお馴染みの野麦峠のお話からふるさと飛騨の歴史を再認識して頂きたいとも思います。それでは岡田様宜しく願い致します。

### ☪ 記念講演 ☪

野麦を超えた娘たち 岡田 すみ子 様



明治、大正から昭和初期にかけ、長野県諏訪湖のほとり岡谷の製紙工場で働く農家の女たちの話です。  
野麦峠は北アルプスにある古い峠で標高1672m、大野郡高根村(現高山市)と長野県南安曇郡奈川村(現松本市)県境にあります。  
明治、大正時代、飛騨の若い女たちがこの峠を、50人、100人と幾日も列をなし岡谷、諏訪の製紙工場へ糸引きに、貧しい飛騨の国から口減らしのために向かったのです。  
正月の後2月半ばに春の糸引きに、次に夏、秋の糸引きに、各飛騨の村々から諏訪のほとり岡谷の製紙工場へ行ったのです。12月の暮れに死に物狂いで働いて1年分の給金をもらい、この峠を越えて正月の土産を持って親元に帰るのが楽しみでした。  
しかし避妊具も普及していなかった当時の事で、数多い女たちの中では身ごもって帰る女も少なくありませんでした。身ごもっていることをどんなに親しい仲間であってもそれだけは打ち明ける事ができませんでした。小さな胸を痛めながらただ死ぬことだけを考えていました。「もうすぐ飛騨に帰れる。おらあ、はよう、かか様に会いたい。」

みんなが飛び回って喜んでいた中、いくつもの難所の野麦峠を越せなかった悲しい女の人がありました。野麦峠のクマ笹の中で血だらけの状態です。クマ笹に投げ出された赤子がいるのです。クマ笹に葬るしかなかったのです。くる年もまたくる年もこの峠に悲しい物語がたくさん生まれました。  
そして誰がいつごろ建てたか知るすべもなく、峠の頂上に小さなお地蔵さんが作られたのです。

### <御礼> 大保木 正博

岡田様、大変感動的なお話をありがとうございました。皆様、ハンカチ一枚で足りませんでしたでしょうか。近頃めっきり涙腺の弱くなった大保木は、既に涙声状態です。  
雪国の人間は、厳しい冬を耐えた後には必ず暖かい春がやってくることを体で知っています。劣悪な環境の元で命を削りながらも、日本の貧しく苦しい時代を懸命に生き抜いた飛騨の女性工員たちもそうした逞しさと希望を持った人たちだと信じ、また誇りにして明日を生きたいと思います。  
岡田様、本当にありがとうございました。今一度盛大な拍手をお願い致します。

### ～ 野麦峠のお話 ～

明治時代に飛騨から信州岡谷の製紙工場に女工として働きに行っていた娘達の話です。  
飛騨から信州に行くには峠越えをするのですが、その峠の名前が野麦峠。江戸時代には、江戸からくる代官や郡代が通った峠であります。標高1672m。年末には富山から鱒が通り、その時期は人の数より魚の荷駄の方が多いと言われており交通の要所となる峠でした。今は、鉄道や高速道路ができ、往年の賑わいは見る影もありません。観光のお助け小屋と野麦峠の碑が立っただけでございます。  
明治時代は、殖産興業で製糸産業を盛んにおこない日本の輸出製品の花形が絹糸で年間12,300万円輸出していました。主に、群馬と長野に製紙工場があり、その辺りの養蚕組合の方々は今でも蚕の事を「子供」と呼んで自分の子供と思って大事にしているそうです。  
飛騨は明治時代、貧しい国で百姓だけでは家族が食べて行けず、「首をつろうか野麦を越えようか」という言葉があるそうで娘が年頃になると岡谷の製紙工場の女工となって働きに行ったそうです。冬の間に工場と契約をし、正月が終わると製紙工場に働きに出る。そして、一年間は家に帰れずに工場で働く事になります。工場の宿舎には鍵をかけられ逃げるに逃げられず働かされたそうです。  
年末に一年分の給金を持ってまた野麦峠を越えて飛騨に帰る。その中には、妊娠してしまっている娘もおり、峠の笹原の中で出産する事もあったと言います。  
そんな女工の中に、河合村(飛騨市河合村)出身の正井みねという娘がおりました。彼女は14歳の時働きに出て、百円女工と呼ばれるくらい仕事ができるようになりましたが、病に倒れ実家に引き取られることとなりました。兄が工場まで迎えに来てくれ、その背に背負われ野麦峠の頂上のお助け小屋までやってきました。その時、「ああ、飛騨が見えてきた」の言葉を残し亡くなりました。明治42年11月20日享年20歳でした。  
その頃東京では、絹糸輸出世界一の大祝賀会が開かれており、悲しい女工たちの現実など知られることはありませんでした。  
～前越 路子より～

## 【第二部】

<開演の挨拶> 会長 山本 辰男



第一部は固い例会でしたが、第二部は緩い例会ですので、皆様ゆっくりお楽しみください。

<友好クラブ会長挨拶>  
平塚湘南ロータリークラブ  
会長 細野 光生 様



1000回記念例会おめでとうございます。  
高山中央ロータリークラブさんとのお付き合いは、平成10年から始まり、8年前に友好クラブ締結を結び、今年で15年目になります。今後も宜しくお願いします。

<乾杯>  
剣田 広喜 ガバナーノミニニー・デジグネート



<座付>



<祝唄(めでた)> 島 良明



<佐田 鐘子さん歌唱>



<中締め> 永家 将嗣 会長エレクト



<手に手つないで>唱和



# 4月22日(火)交流会 観光組



<ニコニコBOX>

本日はお世話になります。よろしくお願ひ致します。  
平塚湘南RC 細野光生様/黒柳寿郎様

本日は1000回例会おめでとうございます。今日と明日は  
お世話になりますが、よろしくお願ひ致します。  
平塚湘南RC 会員一同

平塚湘南ロータリークラブの皆様、本日は遠方より遥々お  
越し頂き誠にありがとうございます。二日間楽しいひと時  
となります様お願ひ致します。

山本 辰男/中田専太郎